

令和6年度 森林環境譲与税の使途公表

【山鹿市の森林状況及び取組状況について】

山鹿市の森林面積は、総面積の約51%を占めています。

水源涵養をはじめ、地球温暖化防止に資する観点からも計画的に適切な森林整備を進めていく必要があります。

山鹿市では、森林環境譲与税を財源として、令和元年度から「森林経営管理制度」に基づく森林経営管理意向調査（アンケート）を順次実施しています。このアンケート結果を元に、山林所有者と合意形成を図りながら、荒廃の進む杉、ヒノキなど人工林の整備を進めていく計画です。

このほかにも、林道の除草をはじめ、災害発生を未然防止するために、林道の暗渠浚渫や土砂撤去、木材運搬車の通行に支障のある危険木等の伐採、森林作業道の生コンクリート支給などにも取り組んでいます。

※令和6年度から、国民一人当たり1,000円/年の森林環境税が課税され本事業の財源となっています。

令和6年度森林環境譲与税額	51,188千円
令和6年度基金積立金（利息）	7千円
基金残高	27,107千円 (R7.3までの基金残高)

□ 森林経営管理制度に基づく意向調査 〈事業費〉5,687千円

- ① 1,386千円 鹿北町芋生地区意向調査
- ② 2,541千円 麻生野・平山・上吉田地区簡易現地調査
- ③ 1,760千円 鹿北町四丁地区対象森林抽出 ほか

□ 林道・作業道補修支援 〈事業費〉45,172千円

- ・林道除草作業 7路線 67,469m 17,550千円
- ・林道、作業道の支障木伐採 2,940m 4,508千円 ※詳細は別添参照
- ・林道、作業道の暗渠浚渫及び土砂撤去 16ヶ所 4,941千円 ※詳細は別添参照
- ・未舗装林道、作業道のコンクリート舗装（原材料支給）29路線 728,8m 18,173千円

■ 森林環境譲与税導入の効果

令和6年度は、前年度の委託業務で抽出した芋生地区内5条森林のうち人工林所有者を対象に、森林経営管理意向調査（アンケート）を実施しました。その森林経営管理意向調査アンケート結果をもとに令和7年度に現地確認調査を実施する計画です。

また、林道・作業道の土砂撤去や暗渠浚渫を継続実施してきたことで、豪雨による大規模災害の発生を未然防止することができています。さらに、生コンクリートなど舗装材料の支給支援や林道除草作業により、木材運搬車などの円滑な通行が確保できています。



（林道除草作業）



（暗渠等浚渫）



（コンクリート舗装）